

令和2年度9月補正予算の概要

令和2年9月
総務部財政課

令和2年度9月補正予算について

- I 新型コロナ対策として、医療・検査体制等の一層の充実を図るほか、企業の新たな事業展開や住民生活の維持を引き続き支援
- II 西日本豪雨災害への対応として、市町の災害復旧事業を受託して進捗を促進するほか、県民の安全・安心を確保するため、県独自の緊急防災・減災対策（避難道路や河川、砂防施設等の整備）を積極的に推進
- III プロ野球オールスターゲームの開催に向けた機運醸成など、当面する課題に対応

コロナ対応予算総額：1,060億円
(R元年度：5億円 R2年度：1,055億円)

1. 新型コロナウイルス感染症への対応：97億493万円

(1) 医療・検査体制等の充実		74億6,478万円	(注：◎は新規施策分)
◎ ①	えひめ福祉支援ネットワークに参画して応援職員を派遣する法人への協力金の支給	390万円	【コロナ基金】
◎ ②	妊産婦に対する分娩前PCR検査の自己負担を無償化するための支援金の支給	1,520万円	【コロナ基金】
◎ ③	新型コロナウイルス感染症対策応援基金への寄附金の積立て	4,303万円	
◎ ④	県内6医療圏域におけるドライブスルー方式などによるPCR検査体制の構築	1億9,200万円	
◎ ⑤	高齢者福祉施設が実施する個室化改修への支援	156万円	
◎ ⑥	医療従事者等応援手当金の支給や感染症患者の受入病床確保（下半期分）	67億584万円	
◎ ⑦	無症状や軽症患者の療養を行うための宿泊施設の借上および運営（下半期分）	3億8,804万円	
◎ ⑧	感染症患者受入病院の医療従事者への宿泊費支援（下半期分）	5,077万円	
◎ ⑨	衛生資材や検体の搬送などに係る保健所の体制整備（下半期分）	6,444万円	
(2) 新たな事業展開と生活維持への支援		22億4,015万円	
◎ ①	県内企業へのマスク生産設備の導入や感染症対策製品の販路開拓の支援	3,253万円	
◎ ②	生活福祉資金の特例措置による生活を維持するための貸付け	22億円	
◎ ③	生活困窮者への住居確保給付金の支給	362万円	
◎ ④	私立専修学校の授業料減免措置と連動した家計急変世帯の生徒への支援	400万円	

2. 西日本豪雨災害等への対応と

防災・減災対策の推進： 43億5,464万円

(1) 西日本豪雨災害等への対応 9億5,784万円

- | | |
|--------------------------------------|-----------|
| ① 市道の災害復旧事業等の受託による早期復旧等に向けた支援 | 4億5,890万円 |
| ② 公立福祉施設の災害復旧事業に係る国庫負担率の激甚法に基づく嵩上げ措置 | 7,644万円 |
| ③ 令和2年7月豪雨により地すべりが発生した大洲市矢の口地区の対策工事 | 3億6,947万円 |
| ④ 令和2年7月豪雨により法面が崩壊した川之石高校実習園の災害復旧 | 5,303万円 |

(2) 県単独緊急防災・減災対策事業 33億9,680万円

- | | |
|---------------------|------------|
| ① 緊急輸送道路等の整備 | 15億7,840万円 |
| ② 河川、海岸、港湾施設の改修 | 3億8,576万円 |
| ③ 河川の氾濫を防止する河床掘削の推進 | 10億1,440万円 |
| ④ がけ崩れ防災対策の促進 | 1億1,860万円 |
| ⑤ 土砂災害を防止する砂防施設の整備 | 2億9,964万円 |

3. 当面する課題への対応： 22億1,862万円

《うち国民健康保険事業特別会計 5,234万円》

- | | |
|--|--------------------|
| ◎ ① 令和4年のプロ野球オールスターゲーム開催に向けた機運醸成 | 965万円 |
| ② 市町の事務負担軽減を図るための健診予約システム等の機能向上 《国保特別会計》 | 5,234万円 |
| ③ 税制改正に対応するための県税システムの改修 | 9,989万円 |
| ④ 財政基盤強化積立金への決算剰余金1/2相当額の積立て | 20億5,674万円 |
| ⑤ 郷高架橋（八幡浜道路）の工期延長に伴う債務負担行為 | 〔債務負担行為 3億6,751万円〕 |

予算規模

- | | | |
|------------------|-------------|--------------------|
| ◆ 一般会計 | 162億2,585万円 | 【累計 7,666億4,925万円】 |
| ◆ 特別会計(国民健康保険事業) | 5,234万円 | 【累計 2,599億1,587万円】 |

県独自の緊急防災・減災対策

- 1 西日本豪雨災害や令和2年7月豪雨災害などを踏まえ、県民の安全・安心を確保するため、道路の安全対策や砂防堰堤の整備、河床掘削など緊急に行うべき県独自の防災・減災対策を積極的に推進
- 2 当初予算と国の3か年緊急対策を活用した道路安全対策や河床掘削の県単前倒し分を合わせた予算額は、前年度9月補正後を上回る規模を確保 《対前年度16億円の増》

R元年度：153億円

R2年度：169億円

対前年度 +16億円（伸び率+10.0%）

《9月補正》

緊急防災・減災対策

33億円

- ・道路・河川整備など 25.9
- ・砂防、がけ崩れ防災 5.2
- ・河床掘削 2.1

《国緊急対策》

県単前倒し分 22億円

- うち河床掘削 11.1

《当初》

防災・減災強化枠

98億円

- ・防災・減災対策事業 43.1
- ・警察署の建替、ため池の災害対策、私立幼稚園の耐震化の促進など 54.5

《9月補正》

緊急防災・減災対策

34億円

《国緊急対策》

県単前倒し分 38億円

- うち河床掘削 5.2

《当初》

防災・減災強化枠

97億円

- ・防災・減災対策事業 42.5
- ・第二別館や警察署の建替、ため池の災害対策、私立幼稚園の耐震化など 54.5

◆西日本豪雨災害を踏まえた対策を積極的に推進

- ・道路安全対策や河川、海岸、港湾施設の整備など (19.7億円)
- ・砂防やがけ崩れ防災対策 (4.2億円)
- ・土砂の堆積が著しい箇所の河床掘削 (10.1億円)

令和2年度9月補正予算の内訳

一般会計 歳入予算

区 分	補正予算額	備 考
国 庫 支 出 金	97億7,079万円	新型コロナ緊急包括支援交付金 など
繰 入 金	1,910万円	新型コロナ対策応援基金繰入金
繰 越 金	25億1,301万円	決算剰余金
諸 収 入	4億5,890万円	災害復旧等に係る市町からの受託事業収入
県 債	33億2,900万円	県単独緊急防災・減災対策事業への充当予定額 など
そ の 他	1億3,505万円	新型コロナ対策応援寄附金、土木費負担金
合 計	162億2,585万円	

一般会計 歳出予算

区 分	補正予算額	備 考
投 資 的 経 費	48億2,511万円	
公 共 事 業	8億8,626万円	災害関連緊急地すべり対策事業 など
県 単 独 事 業	34億2,692万円	県単独緊急防災・減災対策事業 など
災害復旧事業等	5億1,193万円	市町道災害復旧受託事業、学校施設災害復旧 など
積 立 金	20億9,977万円	財政基盤強化積立金、新型コロナ対策応援基金積立金
そ の 他	93億 97万円	生活福祉資金貸付事業、新型コロナ医療提供体制確保事業 など
合 計	162億2,585万円	